



大木町通信

大木町役場 福祉課
大木町社会福祉協議会

平成30年6月15日 第6号

6月27日(水)

大木ささえ隊

発足!

☆ニーズ把握や情報共有

☆地域活動の応援隊

☆連携・ネットワークづくり

少子高齢化の急速な進行、社会保障費の増大など様々な問題が生じる中で、住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域福祉の実現を目指し、住民・団体・企業・福祉事業所等が主体となり、地域住民のさまざまな生活課題の解決に向けて話し合いを行う「大木ささえ隊」(協議体)を発足することになりました。

平成28年7月1日第1回住み続けたいまちづくりセミナーを開催し、その後も協議体の発足に向けてセミナーを重ねてきました。平成29年12月の第6回住み続けたいまちづくりセミナーで、住民の皆様より大木ささえ隊(協議体)のことをもっと多くの地域関係者に知っていただく必要があるのではないか等の貴重なご意見をいただきました。これは大木ささえ隊(協議体)の発足に、とても大切なことであったため、地域住民を支える関係者の皆様、地域住民の皆様へ説明会を行ってきました。説明会では、様々な意見交換を行い、より多くの地域住民の皆様にご理解とご協力をいただくことができ、大木ささえ隊(協議体)を発足するに至りました。

大木ささえ隊(協議体)の発足式は、6月27日(水)13時30分より、こっぽーっとホールにて開催します。

平成29年12月22日こっぽーっとホールにて第6回住み続けたいまちづくりセミナーを開催しました。その内容を簡単にですがご紹介します。

1. これまでのセミナーの説明

第1回セミナー開催から第5回セミナー開催までの内容を、画像を見ながら復習しました。第3回セミナーでは、参加者の皆さんからニックネームを募り、「大木ささえ隊」と決めました。

2. 住民タクシーのビデオ鑑賞

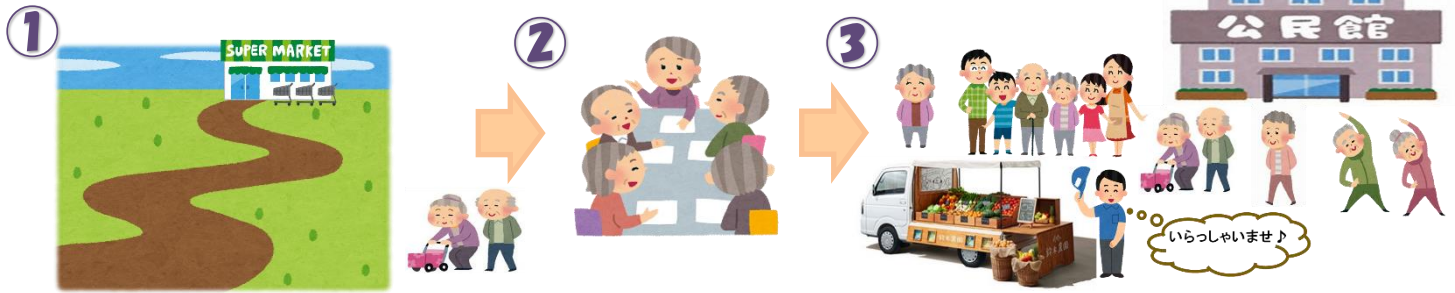
近くの顔なじみの住民が高齢者をタクシーのように目的地へ連れていく住民タクシーのビデオを見ました。鑑賞後、参加者で意見交換を行いました。



第6回セミナーの様子

裏面へ

3. 大木ささえ隊（協議体）の取り組みについて、紙芝居を見て聞いて、分かりやすく学びました。（紙芝居の一部をご紹介します）



●地域の課題（例）

お店が遠くて買い物に行けない。

●話し合い（例）

ささえ隊のメンバーでアイデアを出し合い支援の仕組みをつくります。

●課題解決（例）

公民館へ移動販売が来るようになって、地域の皆さんが集まる機会もできます。

☆住み慣れた地域でいつまでも安心した生活を送るためには、様々な不安や課題を、解決できることから解決していくことが必要です。大木ささえ隊（協議体）で、ネットワークをつくり、アイデアを出し合い、今できることから、町・地域ならではの支え合いの仕組みづくりを行っていきます。

【第6回セミナー終了後のアンケート結果】★参加者 68人 アンケート回収 43人（回収率 63%）

★今回のセミナーに参加をして、今後のまちづくりに対し、あてはまるものは？

- ① とても興味が持てた 11人 ② 興味が持てた 32人 ③ あまり興味が持てなかった 0人
④ まったく興味が持てなかった 0人 ⑤ 回答なし 3名

★今回のセミナーに参加して、大木ささえ隊（協議体）について理解できましたか、あてはまるものは？

- ② よく理解できた 9人 ② 理解できた 32人 ③ あまり理解できなかった 1人
④ まったく理解できなかった 0人 ⑤ 回答なし 0名

★第6回セミナー参加者の感想（アンケートより抜粋）

明日は我が身です。自分がしてほしいこと、役割を考える。待つのではなく、自分から進んで近づいていくこと。

今日のビデオを見ていつか私たちもこうなると思っています。その時に手を差し出してくれる人がいたら助かるし嬉しいと思います。そうなる前に私にも誰かに力を貸してあげることが出来たらしていきたいと思っています。私も72歳、動けなくなる前に何かをとほ、いつも思っています。

年を取っても一人ひとりが楽しみを持って、残りの人生を自分で生きがいを見つけて、手に手を取って仲良く助け合っていきたいです。

誰もが一度は通る道、今できることをして、将来の自分達が生活できるような地域づくりができればいいなと思いました。

地域で色々な課題があるので、とても大木ささえ隊の協議体は必要と思います。

問い合わせ

大木町社会福祉協議会 TEL 32-2423

